

# 令和7年度第1回埼玉県公共事業評価監視委員会 会議要旨

日 時	令和7年8月25日（月） 10時00分～11時30分
会 場	県土整備部 部会議室（WEB会議システム併用）
出席委員	村野委員（会長）、八木澤委員、松井委員、盛本委員、澤田委員

## 1 【事業評価】再評価実施事業対応方針（案）に対する意見の取りまとめ

### ① 201 道路改築事業 主要地方道 深谷嵐山線（上原工区）

- 委 員： 歩道が3.5mと広く取られている。自転車道のニーズも高いと考えるが、歩道の一部を利用して自転車道を整備する予定はあるか。
- 事業課： 歩道幅員3.5mは自転車歩行者道の指定ができる幅員である。正規の自転車道は難しいが、自転車歩行者道の指定について交通管理者と協議していく。
- 委 員： 秩父鉄道の高さは変わらないのか。また、アンダーパスにすると大雨の時に通行止めになる懸念がある。
- 事業課： 秩父鉄道の高さは変わらない。また、アンダーパスは北側が高く勾配は取れているが、秩父鉄道直下は若干の窪地になる。一定規模の雨について水がたまらない措置を講じる。
- 委 員： 事業のマイナス面として農道の分断をあげているが、対策は行うのか。迂回することで横断できるのか。
- 事業課： 少し迂回すれば通行可能である。地元からは今までと環境が変わると言われることがある。

#### ○対応方針（案）について

- 会 長： 継続するという対応方針案のとおりでよろしいか。また、附帯する意見もなしでよろしいか。
- 委 員： 異議なし。

## 2 【事業評価】事後評価実施事業の報告

### ① 202 道路改築事業 一般県道本田小川線バイパス（高谷）

参考意見は以下のとおりである。

- 委 員： 開通して間もない時期にこのバイパスを利用した。快適に走行できるにも関わらず、交通量が少なく、もったいなく感じていた。最近は知名度が上がったことで交通量が増えたと考えてよいか。
- 事業課： そのとおりである。カーナビで新しく案内されるようになったことも増加の要因の一つと考えている。

### 3 【計画評価】事後評価実施事業の報告

#### ① 2—5 1 埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出(防災・安全)緊急対策

参考意見は以下のとおりである。

委 員： 説明資料に記載されている不老川の整備について、どのような改修を行ったのか。

事業課： 基本的には河川改修であり、護岸整備を行っているが、流下能力を確保するために土砂の撤去もあわせて実施している。

#### ② 2—5 2 埼玉県における治水対策の推進と豊かな環境の創出(防災・安全)

参考意見は以下のとおりである。

委 員： 今回の計画で目標が達成できなかった指標があるが、次期計画は具体的に進み始めているのか。

事業課： 令和4年度から次期計画を進めており、矢板護岸の更新と河川改修については引き続き整備を推進している。

委 員： 事業番号2—5 1と2—5 2では指標①の目標値が共通しているが、対象とする地域に違いはないか。

事業課： 対象地域は同じである。埼玉県全域を対象としている。

委 員： 指標①浸水被害解消戸数はシミュレーションによるものか。

事業課： 事業計画策定時に設定した浸水解消家屋数をカウントしたものであり、シミュレーションによるものである。

委 員： 指標②矢板護岸の更新は、狭隘な現場のため施工業者が嫌がることも考えられるが、設計単価を高くするなどの対応はされているのか。

事業課： 狹隘な現場でも施工が可能な特殊工法を採用しており、その必要額を計上している。

#### ③ 3—5 1 埼玉県安全・安心で災害に強い都市公園整備の推進(防災・安全)

参考意見は以下のとおりである。

委 員： 指標③について、整備範囲の目標45%はどのように決めたのか。また、植栽の剪定などを行うとあるが、なぜ剪定が安全安心に関連するのか。

事業課： 整備範囲として利用者の多い場所などを優先的に選定した。また、植栽剪定は見通しを確保することを目的としている。

委 員： 植栽の剪定は日常的な維持管理とは別に実施したということか。

事業課： そのとおりである。